

定例会議の開催状況

第1 開催日時

令和3年7月29日（木） 午前10時～午後4時

第2 開催場所

公安委員会室

第3 出席者

1 公安委員会

泉委員長、上枝委員、岡委員

2 警察本部

本部長、警務部長、生活安全部長、刑事部長、交通部長、警備部長、
首席監察官、情報通信部長、公安委員会補佐官

3 陪席

総務課長

第4 委員説示

委員から「公安委員とは、会社で言えば社外取締役に当たるものであり、第三者的な立場と内部的な立場をどのように調整していくかが重要になってくる。そのためにも県警からの適切な説明を受けて、定例会議の場でしっかりと議論していくことが大事になると思う。緊張感を保つつつ、しっかりと管理をしていきたい」旨の発言があった。

第5 議題事項

運転免許の臨時適性検査等の実施に係る医師の認定について

県警察から、運転免許の臨時適性検査等の実施に係る医師の退任に伴い、専門的な知識を有すると認める新たな医師の認定について説明がなされ、審議の上了承された。

第6 報告事項

1 令和3年上半期における街頭防犯カメラシステムの活用状況等について

県警察から、街頭防犯カメラシステムの運用に関する規定に基づき、令和3年上半期におけるデータの活用状況等について報告がなされた。

委員から、「カメラの設置自体に犯罪抑止効果があると思うので、今後の機器の更新に向け、その必要性や実績を踏まえて予算確保できるように準備をしていただきたい」旨の発言があった。

県警察から、「更新時期までに実績を積み重ねつつ、防犯カメラの設置が治安維持にいかに有効であるかということや警察が主体となって防犯カメラを設置管理する必要性等をしっかりと説明できるようにしてまいりたい」旨の説明がなされた。

2 令和3年上半期における刑法犯の認知・検挙状況等について(暫定値)

県警察から、令和3年上半期の刑法犯認知件数は1,908件（前年同期比－488件）、検挙件数は1,130件（同－83件）、検挙率は59.2パーセント（同+8.6ポイント）で、前年同期より、認知件数及び検挙件数はそれぞれ減少し、検挙率は上昇した旨の報告がなされた。

委員から「重要犯罪の認知件数では、性犯罪の占める割合が大きいことが分かった。検挙もしっかりなされているが、是非防止にも努めていただきたい」旨の発言があったほか、委員から「刑法犯認知件数の減少は犯罪の抑止対策と検挙活動がうまくはたらいている結果であり、評価したい」旨の発言があった。

3 令和3年上半期における特殊詐欺の認知・検挙状況等について(暫定値)

県警察から、令和3年上半期の特殊詐欺については、認知件数17件（前年同期比－14件）、被害総額約5,393万円（同約466万円増）と、認知件数が大幅に減少した一方で被害総額は増加した旨の報告がなされた。

委員から「被害回復の難しいタイプの犯罪であるので、今後とも金融機関やコンビニエンスストア等に働きかけて、着実な抑止対策をしっかりやってもらいたい」旨の発言があった。

県警察から、「被害者の半数を占める高齢者に対して効果的な広報活動を展開するほか、金融機関等と連携した水際対策をしっかりと行なっていただきたい。また、特殊詐欺には暴力団が関与する場合もあるので、暴力団犯罪の摘発も重視していただきたい」旨の説明がなされた。

第7 決裁

1 公安委員会定例会議会議録の作成について

(令和3年6月3日開催分)

2 公安委員会ホームページにおける定例会議会議録の更新について

(令和3年6月3日開催分)

3 苦情受理報告について

4 意見要望等受理報告について

第8 意見の聴取の審議結果について

県警察から、運転免許の取消し等に係る意見の聴取について報告がなされ、審議の上、処分内容を決定した。

第9 その他

1 建造物侵入事件被疑者の検挙について

県警察から、観音寺市で発生した建造物侵入事件の被疑者を検挙した旨の報告がなされた。

2 死体遺棄事件被疑者の検挙について

県警察から、綾川町で発生した死体遺棄事件の被疑者を検挙した旨の報告がなされた。

3 東京オリンピック特別派遣部隊の活動等について

県警察から、東京オリンピック特別派遣部隊の活動状況等について報告がなされた。

4 行政処分に対する審査請求について

県警察から、香川県公安委員会が行った運転免許の更新処分について、行政不服審査法に基づく審査請求があり、これを受理したので、所定の手続きにより審理を進める旨の報告がなされた。

5 警察署協議会の開催結果について

県警察から、令和3年6月16日（水）開催の「令和3年度第1回高松西警察署協議会」の結果について報告がなされた。

以上